

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 62号

2013/08/19 発行

株式会社 立花商店

生田 渉

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き：今週は先週に高騰した高値レンジを維持し大きな動きなし。

①週最高：12月LDN市場£1,655 / 12月NY市場\$2,499(8/12、14、8/12)先週比 **LDN+£7/NY+\$19**

②週最低：12月LDN市場£1,638 / 9月NY市場\$2,458(8/13) 先週比 **LDN+£43/NY+94**

週内価格差額(①-②)：LDN市場£17(傾向→) / NY市場\$41(傾向→)

週内建玉推移：LDN市場 215,180枚(8/9終了時)⇒217,156枚(8/15終了時) **+1,976枚**

NY市場 185,408枚(8/9終了時)⇒183,648枚(8/15終了時) **-1,760枚**

【8月12日(月)】NYは小幅続伸、ロンドン是小反発

ニューヨーク市場は小幅続伸、ロンドン市場は小反発した。コートジボワールの財務当局が、7月末までのココア販売量が約100万トンになったと報告したことを受けた。

2013～14年度産ココアの先渡し(フォワード)売りは、7月末までに100万トンと事前予想を上回り、生産者は農家出荷価格をキロ当たり750CFAフラン(1.53ドル)に引き上げる動きとなっている。

ニューヨーク市場の12月きりは19ドル(0.8%)高の**2499ドル**で終了した。トムソン・ロイターの暫定データによると、出来高は約4万4000枚と、250日平均の2倍の水準だった。ロンドン市場の12月きりは12ポンド(0.7%)高の**1655ポンド**で取引を終えた。

【8月13日(火)】両市場とも反落

両市場とも反落。最近の上昇を受け、調整局面となった。

ニューヨーク市場の12月きりは、41ドル(1.6%)安の**2458ドル**で終了。

ロンドン市場の12月きりは、17ポンド(1%)安の**1638ポンド**で引けた。

主要産地コートジボワールの乾燥気候が相場を押し上げ、ロンドン市場では先週1671ポンドの高値を付けた。2番ぎりとしては2012年9月以来の水準。ロンドンを拠点とするブローカーは「雨不足による悪影響がどれほどのものかを見極める必要がある。それに言及するにはまだ早過ぎる」と述べた。

【8月14日(水)】両市場とも反発=コートジボワールの天候懸念で

コートジボワールの天候乾燥懸念を受け、ニューヨーク市場では、今週最大の上げ幅を記録、12月きりは37ドル（1.5%）高の2495ドルで引けた。

ロンドン市場の12月きりは17ポンド（1%）高の1655ポンドで終了した。

ニューヨークの今月の上げ幅は約8%と、ロンドンの約6%を上回っている。

ヴィジョン・ファイナンシャル・マーケットツのアナリストはコートジボワールの悪天候について「その影響は収穫まで分からないが、支援材料だ」と語った。最近投機買いが相場を押し上げており、ディーラーらは、投機筋の買い持ちが大きく積み上がっているため、天候懸念が行き過ぎだと判明した場合は、大きく下がりやすい地合いになっていると指摘している。

【8月15日（木）】ロンドン、ニューヨークとも反落

ココア先物は、テクニカル主導の売りに反落。

ニューヨーク市場の12月きりは、前週に付けた8カ月ぶりの高値の2525ドル近辺のテクニカルな抵抗線を試した後、10ドル（0.4%）安の2485ドルで終了した。

ロンドン市場の12月きりは、3ポンド（0.2%）安の1652ポンドで引けた。前週は、約11カ月ぶり高値の1671ポンドを付けていた。カカオ豆主産地のコートジボワールでの乾燥天候に対する懸念から、ココア先物は今月、ロンドン市場で約6%、ニューヨーク市場で約8%、それぞれ上昇している。

【8月16日（金）】ほぼ変わらず。NYは小反発、ロンドンは続落

ココア相場は、カカオ豆主産地のコートジボワールの供給懸念によって下支えされ、ほぼ変わらずで引けた。

ニューヨーク市場の12月きりは、10ドル（0.4%）高の2495ドルで終了。週間ベースでかろうじてプラスを確保した。先週の8%近い上昇で、一時は、8カ月ぶりの高値となる2525ドルを2カ月連続で付けた。

ディーラーによると、通常よりも早く始まった乾期を受け、コートジボワールの期近物の生育に関するさえない報告は、価格を引き続き下支えしている。ある欧州のトレーダーは、正確な予想をするには早過ぎると警告した上で「一般的な考え方として、2013～14年の少量の不足見通しは、徐々に大きな規模になりつつある」と指摘。「不足に陥るのはほぼ間違いないが、その規模は個々人の推測でしかない」と述べた。

ロンドン市場の12月きりは、先週付けた10カ月ぶり高値の1671ポンドから軟化し、2ポンド（0.1%）安の1650ポンドで取引を終えた。

2、コートジボワールのカカオ豆前売り、先月末時点で100万トン＝財務省高官(8/13)

コートジボワール財務省高官が匿名を条件に語ったところによると、2013～14年度の同国カカオ豆前売り（先渡し入札）は7月末時点で100万トンに達し、従来の予想を上回った。農場出荷価格が1キロ＝750CFAフラン（約1.53ドル）に上昇する可能性もありそうだ。

カカオ豆価格は先週7.7%上昇。天候不安や前売りが予想を上回るとの観測を背景に、週間ベースで昨年8月下旬以来の高い伸び率を示した。アナリストらは、前売りによって市場での売却が一段と減少

すると予想している。

同国コーヒー・ココア評議会（CCC）は平均競売価格に基づき、昨年10月～今年3月のメインクropp期の農場出荷価格を1キロ＝725CFAフランに、4～9月のミッドクropp期の価格を同700CFAフランにそれぞれ設定。財務省高官は来年度の前売り状況を踏まえ、CCCが13～14年度の農場出荷価格を引き上げることは可能との見解を示した。

3、アジア市場：バターレシオは強固な需要に支えられ5年ぶりの高い水準へ上昇(8/16)

- ・バターレシオは現在 2.35-2.40。今年1月は 1.90 であった。
- ・チョコレートメーカーは買い続けており、いくつかの磨砕業者はバター在庫を抑制している。
- ・パウダーは引き続き低いレンジで停滞している。

今週アジア市場のココアバターレシオは一気に上昇し、過去五年間で最高水準に達した。ロンドンのカカオ豆先物市場の価格も上昇しているにも関わらず、チョコレートメーカーは直近の荷渡しを素早く買っており、いくつかの磨砕業者は在庫を一時的に抑制しているとディーラーは語った。

これだけ高いココアバターレシオはチョコレートメーカーの製品価格の上昇を促す可能性があるが、ディーラーは製品価格上昇はまだ起こっていないという。チョコレートメーカーはココアパウダーと植物油から作られるコンパウンドチョコレートにいくつかの商品を切り替えるかもしれない。

チョコレートの販売は通常主要な消費地である北米と欧州のクリスマス、バレンタインデー、イースターの期間に一気に伸びるが、この数年はアジア地域でも経済発展に伴い“甘いお菓子”への需要は徐々に高まってきている。

現在、チョコレートメーカーからの強い需要に加えて、レシオが上昇しきっている為、いくつかの磨砕業者は、買い手が一緒にパウダーを購入したくないのであれば、ココアバターを大量に販売することを拒否している。

『アジアでは先の荷渡しのポジションについては、今誰も 2.40 レシオ以下では販売したがる。しかしバターはヨーヨーの様にいたり、きたりという市場の動き方を。今は市場にあまりバターを販売したいという売り手がいない状況である』シンガポールのディーラーは言う。

『買い手は必要な在庫として抑えようと買おうとしているが、ココアパウダーの荷動きは非常に悪い為、多くの磨砕業者の工場はフル稼働ではないと思う。多くの磨砕業者がまだココアパウダーとココアバターの需要の差と戦っている最中であろう』先のディーラーは付け加えた。

ココアバターのレシオは今週ロンドンの先物市場のカカオ豆の価格に対して、2.35-2.40 レシオとなっており、過去のデータと比較してみると 2008 年以來の非常に高い数値になっている。

レシオはまた、需要を示す指標でもある。先週、西アフリカでの主要カカオ生産国での供給懸念が報告され、ロンドン先物市場 12 月限月の価格が 10 か月ぶりの高値に上昇したにも関わらず、ココアバター

レシオも上昇した。

通常レシオとカカオ豆の先物価格は反対の方向に動くとされている。

『今は“待ちのゲーム”をしているようなもの。ある人はバターを過剰に販売してしまっている』『ある人があなたにかなり高い異なるレシオのオファーを出してくるかもしれないが、その人がココアバターを売りたいかどうかは別の話だと思う』

アジア市場の第2四半期のカカオ豆磨砕数量は前年対比2%上昇し 153,792 トンであったが、極端に販売が遅いココアパウダー市場はこの業界が全て上手くいっているわけではないことを示唆している。

ココアパウダーの価格は広いレンジで停滞しており、ラマダンとそれに続く休暇の季節的な需要を取り込んだ後でも豊富な在庫を全て調整するまでには至っておらず、価格帯は\$ 2,000-\$2,500 で案内されているようだ。

4、欧州市場：現物需要はコートジボアール産からガーナ産へ移行(8/17)

- ・コートジボアール産 2013/2014 の先売りは既に 100 万トン突破
- ・欧州のバターレシオも引き続き上昇中

今週、欧州のカカオ豆市場ではコートジ産のカカオ豆のプレミアムが底堅いことを背景に欧州の需要のいくつかはより品質の良いガーナ産へ振り替えられたとトレーダー筋は語っている。

『今週はいくつかの新規のガーナ産カカオ豆への需要があった。これはある買い手にとってはコートジ産のプレミアムが高すぎる為、それであれば品質のより高いガーナ産を購入したいというシグナルであると思う』トレーダーは言う。

『ガーナへの新規の引き合いはあったものの、それ以外は多くの企業が夏季休暇をとっていたこともあり非常に静かな 1 週であった』

コートジ産のプレミアムは先週と変わらず 12 月限月のロンドン先物カカオ豆市場に対して +65 £/トンであった。一方ガーナ産は同じく 12 月限月に対して +100 £/トンであった。

ディーラーの説明によると、通常、より高い品質のガーナ産は歴史的にコートジ産のカカオ豆より 1 トン当たり 40 £ ~ 60 £ の幅で高く値段が付けられる。

『コートジは人為的に高くされている、ガーナの価格は実際には低いとは思わない』別のトレーダーはコートジのカカオ豆の入札制度が高いプレミアムを生み出していることに一部不満を述べながら語った。

今週の前半、コートジ政府は 7 月末までに 2013/2014 年のカカオ豆の先売りが 100 万トンに達したと発表し、今後市場に販売出来る数量はほとんど残っていないことを市場に示して示した。

『もし、コートジがあればほど沢山の数量を売っていたとしたら非常に驚きだ、でも一方で、確かに実際コートジが今売ろうとしている数量は非常に小規模なことも納得できる』トレーダーは言う。

別のトレーダーは、買い手が高いプレミアムを払ってコートジの入札でカカオ豆を買おうとしても、買える数量は限られた少ない数量にならざるを得ないと語る。

5 特集記事：フィリピンカカオ産業の状況（独自取材）

今週フィリピンのカカオ産業を視察の為、マニラ及びミンダナオ島を訪問致しました。フィリピンカカオの現状をレポートさせていただきます。

【フィリピンの各島の位置関係地図】



人口：9400 万人

GDP：3203 億ドル

1人当たり GDP：3,546 ドル

首都：マニラ市

【農業産業概要】

フィリピンは他の東南アジア新興国と同様に基本的には農業国であり、全人口の約 40 パーセントが第一次産業に従事している。亜熱帯に属することから多種多様な作物を作ることが可能で、サトウキビやココナッツ、コプラ、マニラ麻、タバコ、バナナなどの生産が盛んである。主食用には米、トウモロコシを産し、特に米の生産が多く、毎年約 1500 万トンもの米を産出する世界第 8 位の米生産国であるが、その自給率は低く、大量の米を輸入している。特に米に至っては世界最大の米輸入国であり、

アジア有数の農業国でありながら、大量の食糧を輸入するというジレンマ状態に陥っている。そのことが、フィリピンの社会問題となっており、2007 年-2008 年の世界食料価格危機には政治的に大きな影響を受けた。その根本原因には過剰な人口（人口爆発）と、過酷な貧困問題に加え、前近代的な農法から来る農業生産性の低さと、フィリピン政府・官僚の腐敗、外貨を得るために輸出商品作物の栽培に偏っているなど、様々な原因が指摘されている。

【カカオ産業】：

- ・ 現状は 10,000 トン程度であるが、今後徐々に拡大が期待できる。
- ・ 品種の研究が進んでおり、今後の新しい農園では、付加価値商品の栽培も可能

フィリピンでの輸出作物の生産拠点であるミンダナオ島ではまず巨大なプランテーション栽培によるバナナ生産がおこなわれており、また小作農でも簡単に栽培の出来るココナッツが次い

で大きな商品となっている。カカオについては、1970年代までは今以上にココナッツとの組み合わせ栽培において積極的に栽培されていたものの1970年代にカカオ価格が暴落した際に多くのカカオ農家がカカオの栽培をやめてしまったという経緯がある。

しかしながら、現在ココナッツ産業での農業収入が不安定、且つ低下価格化している現状があり、ミンダナオ島のいくつかの地域では今後積極的にカカオを栽培していこうという動きが出てきている。

気候条件的には、インドネシア、マレーシアと近く、カカオ豆の栽培が十分に可能な気候条件が整っていると言える産地であり、農地としての可能性は大いにある。

また、外資系のチョコレート会社のMARS社等がフィリピンカカオ産業に対して品種改良、品質改善等に協力している背景もあり、かなり品種の研究がされており、得に新しく開始する農園では生産性が高いだけでなく、品種を特定するなど味の部分での差別化も図れる可能性があり大変魅力的な産地である。

1、弊社の仕入先の中の1つの農村の集荷場、発酵場、乾燥場について



【通常の農園で良くみる品種】



【左の3種を割った状態】



【発酵中のカカオ豆/ボックス法】



【乾燥台：ビニールハウスタイプ】

A) 品種：現在収穫されているものの多くは、昔から栽培されていたトリニタリオ系の品種が多く、またフォラステロ系の品種の混在している為、厳密な意味での選別は難しい。

B) 発酵方法：ボックス法の2段式を採用しているが2日間×2日間の発酵の為、若干発酵不十分の豆が多いのも現状

2、カカオの品種改良及び苗木の販売等で有名な仕入先候補の企業を訪問 ～カカオの接ぎ木の仕方～



①まずまず、台木を用意します。まず、根元あたりを残して上の部分をばっさりと切り落とします。次によく切れるナイフや切り出しで写真のような角度、方向で斜めに切り上げます。切り口の中ほどから下に向かって3から4cm切り込みを入れます。切り込みを入れる位置は中心から少しずらした部分を薄く切るような感じ。



②台木の手配ができれば次にその上に接ぐ、穂木を用意します。穂木は、できるだけしっかりとした枝を選び、傷が付いたり虫が付いている枝は避けるようにします。だいたい2芽～3芽を一つとして切り、枝の先を尖らせるように斜めに切り込みます。台木の切り込みの長さより少し長くなるようにそぎ切りします。



次に台木の切り込みに穂木を差し込みます。このとき、それぞれの枝の断面がぴったりと重なるようにし、それぞれの表皮の部分と表皮の部分が継ぎ目なくぴったりと合わさるようにしましょう。断面のどちらか片側の表皮同士がぴったりとくっつけば問題ありません。

ぴったりと合わさったはずれないように手でおさえながら、接ぎ木テープをぐるぐると、しっかりまいていきます。接ぎ木テープは強く引っ張ると若干のびる性質のあるビニールテープで、園芸店やホームセンターなどで普通に手に入ります。下までぐるぐる巻いたら、台木のでっぺん部分にテープを一回まわして、下でかた結びします。

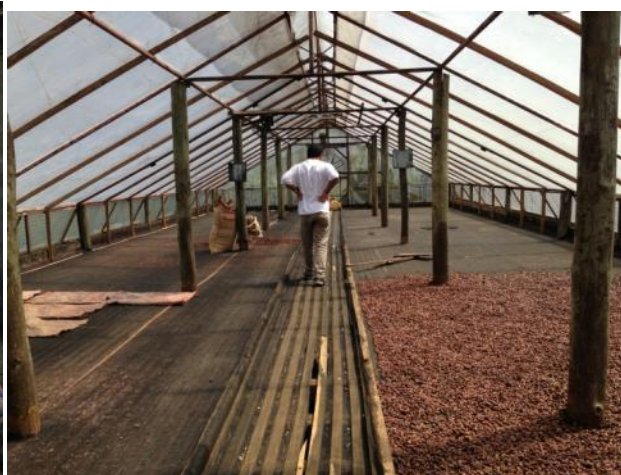
フィリピンでは現在、生産性の高い品種を選定して、その中から農家に対して品種を選ぶように推薦しています。原種はトリニタリオ系のものと、フォラステロ系のものの両方があります。



【現在開発されている沢山の品種の数々】



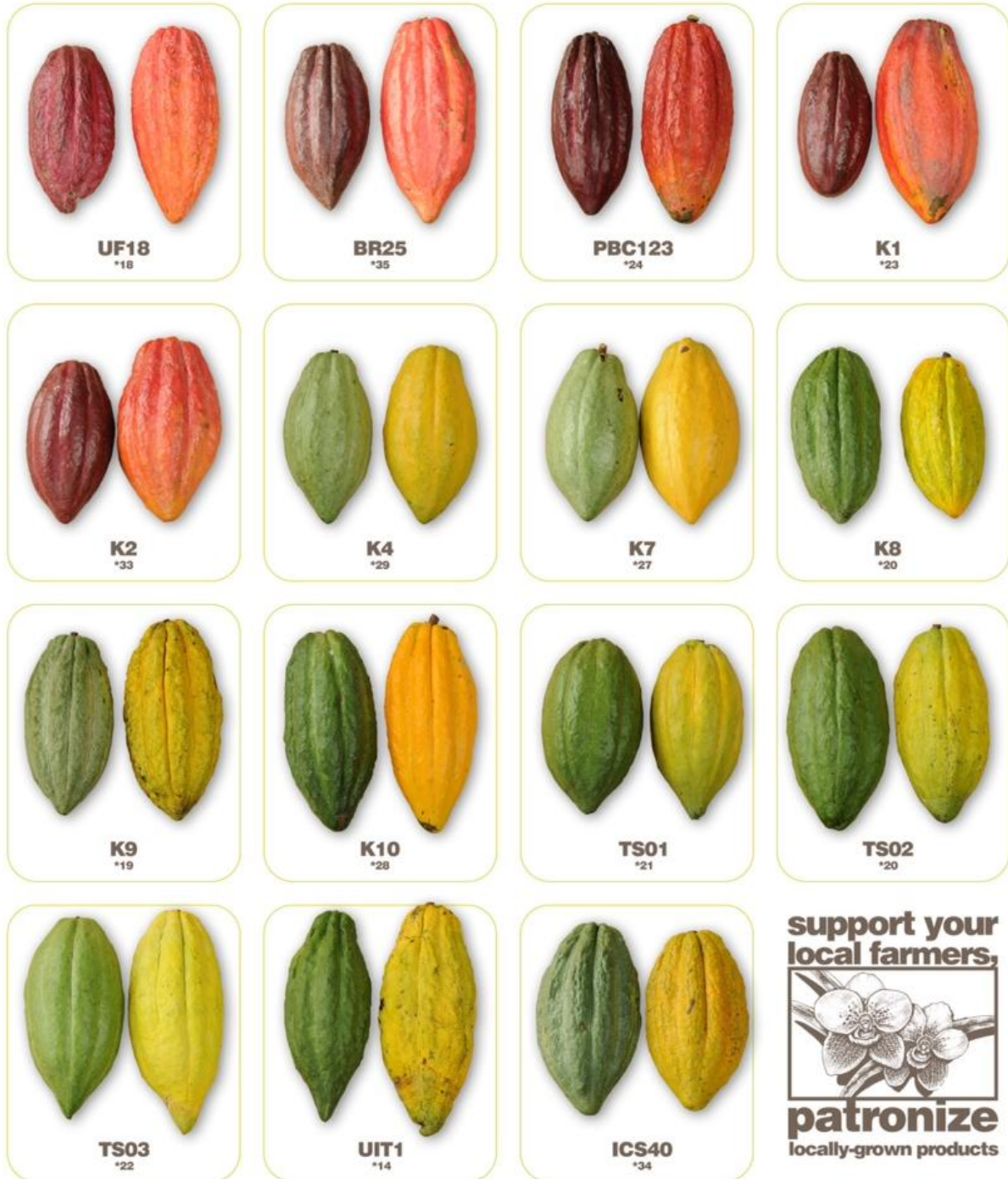
【発酵方法はここも2段式ボックス】



【乾燥台はかなり大きく、高性能なもの】

ミンダナオ島で栽培されているカカオ豆品種一覧

Cacao Clones in Mindanao



support your
local farmers,

patronize
locally-grown products

CLONE CODE	CLONE NAME	ORIGIN
UF	UNITED FRUIT	COSTA RICA
BR	BALONG RIVER	SABAH, MALAYSIA
PBC	PRANG BESAR CLONE	SABAH, MALAYSIA
K	KERAVAT	PAPUA NEW GUINEA
TS	TURION SELECTION	DAVAO CITY, PHILIPPINES
UIT	UNIDENTIFIED TRINITARIO	TRINIDAD AND TOBAGO
ICS	IMPERIAL COLLEGE SELECTION	TRINIDAD AND TOBAGO

ABOVE PHOTOS ARE THOSE OF UNRIPE (LEFT) AND RIPE (RIGHT) PODS. IT IS OUR INTENTION TO HELP FARMERS IDENTIFY THE CLONES.

*CACAO POD INDEX - TOTAL NUMBER OF PODS REQUIRED TO PRODUCE 1 KG. OF DRIED BEANS / SOURCE: MARS COCOA DEVELOPMENT CENTER, MALAGOS, CALINAN, DAVAO CITY, PHILIPPINES.

*特徴的なチョコレートを毎週ひとつ取り上げて紹介する『今週のチョコレート』を別添にて毎週配信しております!!こちらは何卒、ご愛読頂きますようお願い申し上げます。

*特別の注釈がない記事は全て、基本的にロイター通信社のニュースソースを基に作成したものです。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5783-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp